

新ヘルスケア産業フォーラムの設立について

中部経済産業局
平成24年7月6日

1. 「新ヘルスケア産業フォーラム」の設立趣旨

- 超高齢社会の到来や健康志向の高まり、新興国をはじめ世界的な医療・介護需要の増大等に伴い、**新ヘルスケア産業が新たな成長産業のひとつとして有望。**
- 中部地域において新ヘルスケア産業を創出・育成していくことは、**多様な成長産業により内外市場の獲得や、地域に雇用の場を創出していくこととなる。**
- このためには、新ヘルスケア関連分野の**新たな製品、サービスが創出されていく事業環境の整備**に向け、内外の成功モデルやベストプラクティスの共有、既存の取組みの相互連携、新たな領域や手法の開拓、現場ニーズの発掘等を推進していくことが有効。
- 地域の産・学・官が幅広く連携・協働し、新ヘルスケア産業の創出・育成を**地域全体の運動論として展開していくための母体として「新ヘルスケア産業フォーラム」を設立。**

(参考)

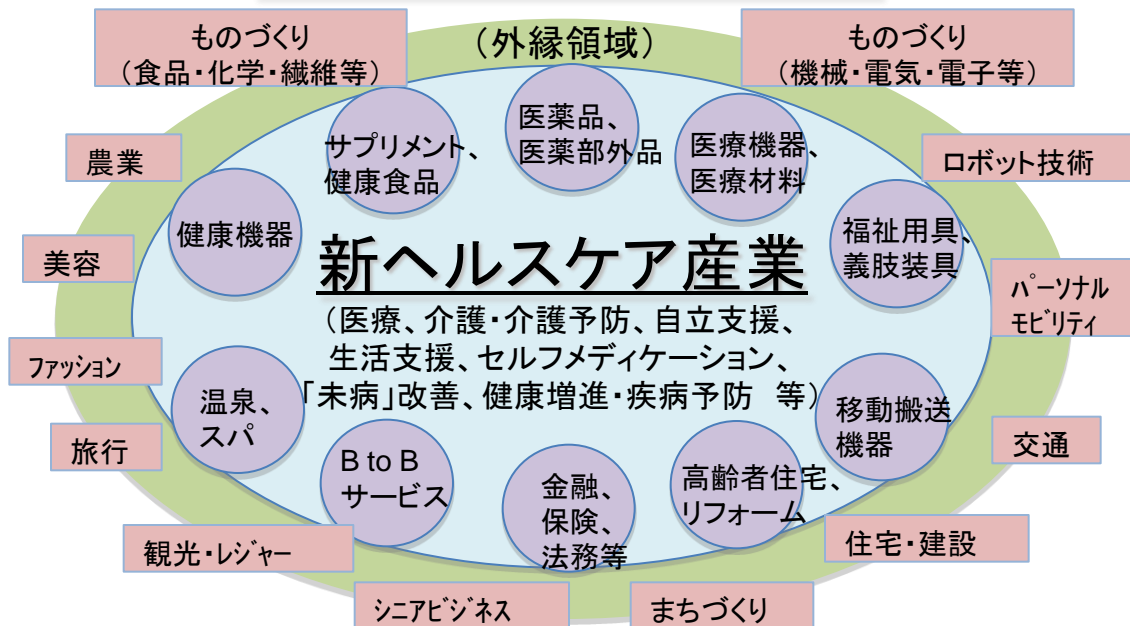
中部経済産業局では、「新ヘルスケア産業創出懇談会」(北川 薫座長(中京大学学長))を設置し、同年9月、「中間とりまとめ」を公表。

- 「新ヘルスケア産業」を「ものづくりを含めシームレスにつながったヘルスケア・サービスを提供する産業」と定義。
- 地域を挙げた「運動論」として息長く継続していくための仕組みとして、「新ヘルスケア産業フォーラム」の設置を提言。

(参考) 「新ヘルスケア産業」の概念

- 「新ヘルスケア産業」を、「ものづくりを含めシームレスにつながったヘルスケア・サービスを提供する産業」と定義(「新ヘルスケア産業創出懇談会」中間とりまとめ)。
- 医療、介護、高齢者の住まい、予防、未病改善、健康増進等のシームレスなサービスと、医療機器、福祉用具、介護用品、医薬品、健康食品等のものづくりを幅広く包含。
- さらに、ものづくり基盤技術の蓄積及び温泉、農産品等の地域資源をはじめとして、ヘルスケアに関連する産業を有機的に取込むことによって、当地域独自のヘルスケア・サービスの展開を目指す。

「新ヘルスケア産業」のイメージ



2-(1).「新ヘルスケア産業フォーラム」の機能・具体の活動(案)

(詳細は今後、理事会にて検討)

<機能>

- 「新ヘルスケア産業」の育成に向け、産・学・官の関係者が幅広く連携・協働し、地域における多様な事業主体の連携・協働の促進、継続的な運動の展開。
 - 内外の成功モデルやベストプラクティスを共有。
 - 地域における既存の取り組みとの連携を図りつつ、新たな領域や手法の開拓、現場ニーズ発掘等を推進。
 - 行政施策の実施状況を確認しつつ、必要に応じ政策提言も実施。

<具体の活動(案)>

- 各事業主体の取組に係る情報共有と相乗効果を生み出す「交流・連携事業」
- 各事業主体の活動を補完・支援する「部会等の活動」
(次頁に活動テーマ(候補)として例示。地域の取組みへと発展。)
- 各事業主体の活動に係る「啓発・広報活動」
 - ✓ ウェブサイト、マスメディア
 - ✓ セミナー・シンポジウム等のイベント
 - ✓ 問い合わせ、相談

(参考) 当面の部会等の活動テーマ(候補)

(詳細は今後、理事会にて検討)

- 当面の部会等のテーマについて、企業等へのアンケートを実施したうえで、地域における既存の取組を考慮し、以下の横断的なテーマの候補を抽出。

① 「コ・メディカル カフェ」によるニーズ発掘とマッチング

- コ・メディカルと異分野人材の交流の場、「コ・メディカル カフェ」の運営を通じて現場ニーズを発掘し、メーカー、サービス事業者等とのマッチングを図る。

(注)コ・メディカルとは、医療・介護に従事する医師以外の専門職(看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、介護ヘルパー等)を指す。医療・介護の現場ニーズを熟知。

② 医療・介護経営の効率化に資するアウトソーシング事業等の育成

- 医療法人や社会福祉法人の経営効率化の過程で発掘される課題を解決するアウトソーシング事業等を育成。

③ 「地域包括ケアシステム」実現に向けた医療・介護等連携事業の育成

- 病床や介護施設から在宅へのシフトが進められる中で、医療、介護、高齢者の住まい、介護予防、生活支援サービス、福祉用具、住宅改修等の連携事業を育成。

④ 医療・介護周辺ビジネスの育成

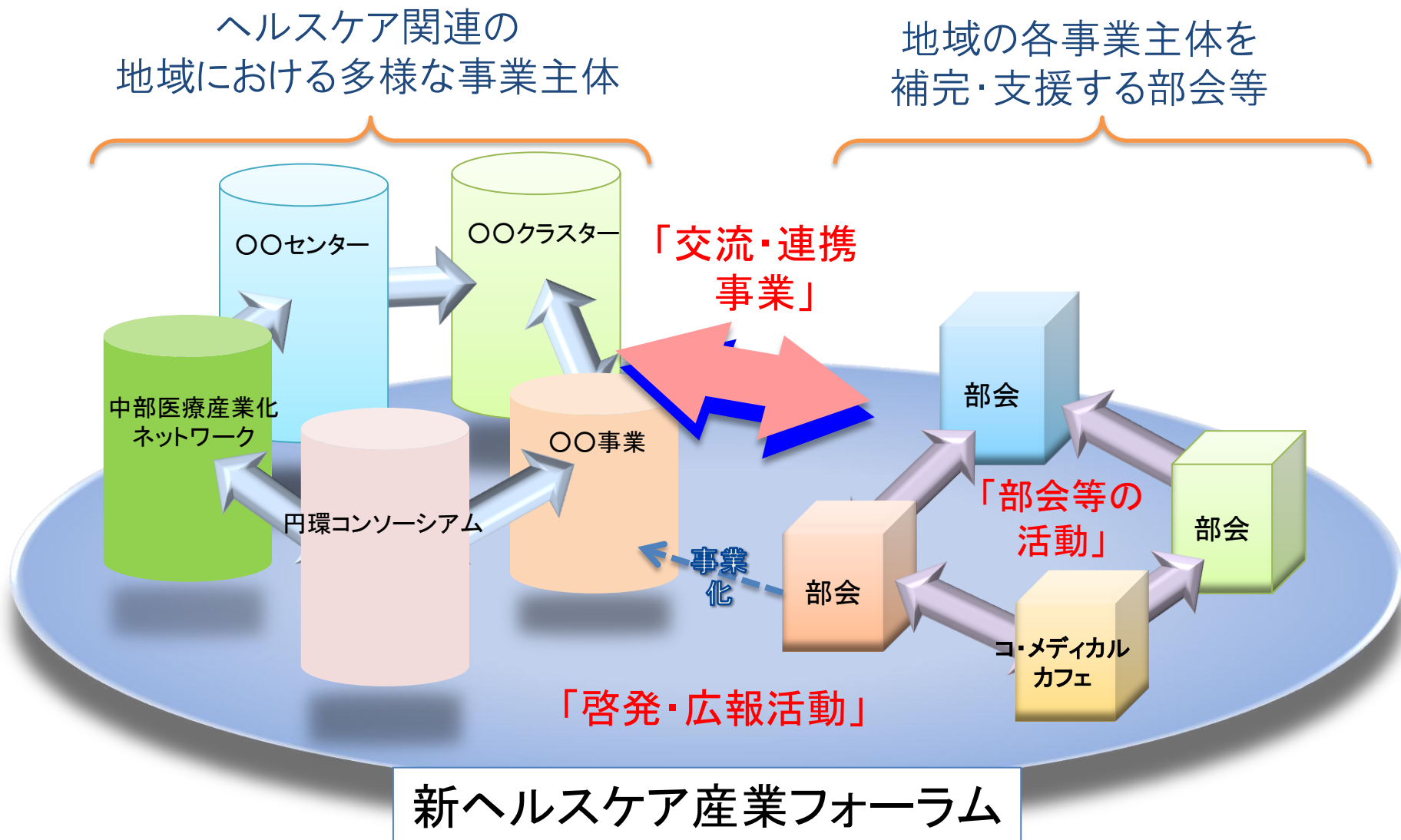
- 疾病予防、介護予防、メタボ対策、「未病」対策、健康増進等の医療・介護周辺領域での新ビジネスを創出。

⑤ 海外展開支援

- 医療機器、福祉用具、医薬品、健康食品等のものづくり分野、ヘルスケア・サービスなどの海外展開を支援。

2-(2) . 「新ヘルスケア産業フォーラム」のイメージ

地域の多様な活動主体との交流・連携事業、フォーラムの部会活動、啓発・広報活動等により、新ヘルスケア産業の創出・育成を地域全体の運動論として展開。



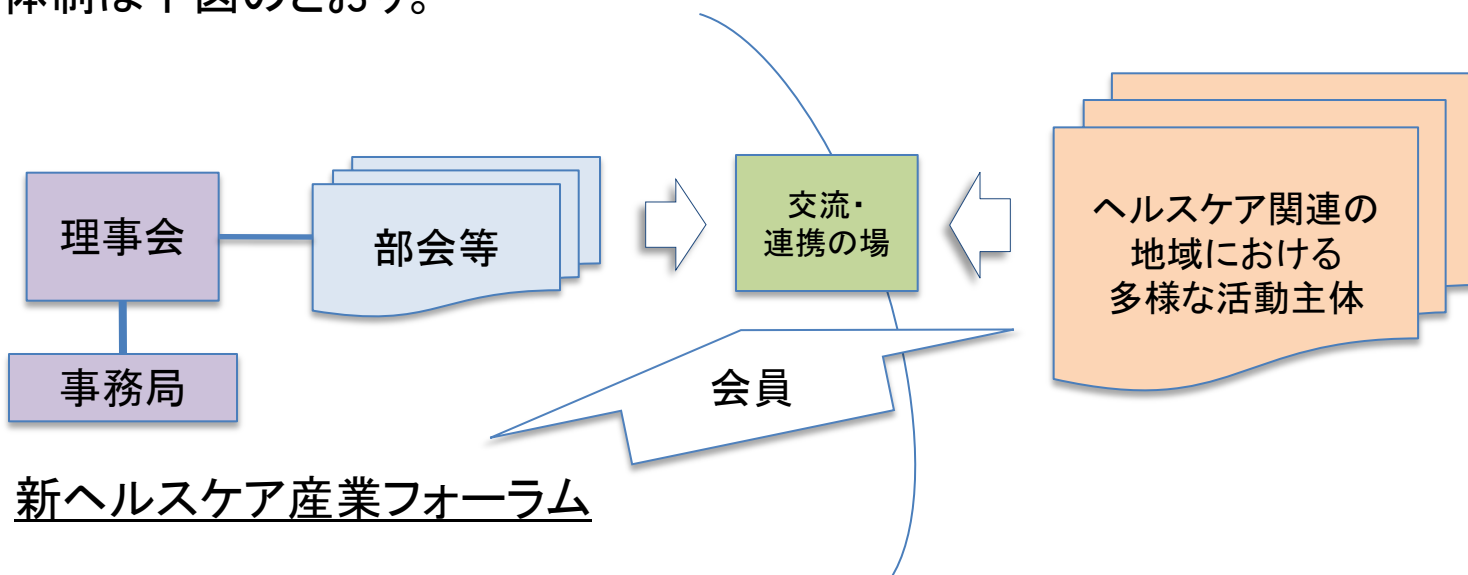
(参考) 地域におけるヘルスケア関連の主な取り組み

- 国際福祉健康産業展(ウェルフェア) <名古屋国際見本市委員会 平成10年~>
- みえメディカルバレー <三重県 平成14年2月~>
- 北陸ライフケアクラスター(HLC)研究会 <平成19年6月~>
- ほくりく健康創造クラスター(地域イノベーション戦略支援プログラム:富山県・石川県)
<平成20年~24年度>
- 名古屋商工会議所 メディカル・デバイス産業振興研究会 <平成21年10月~>
 - メディカル・デバイス産業振興協議会 <平成24年6月~>
- 名古屋大学 予防早期医療創成センター <平成22年4月~>
- 中部経済産業局 新ヘルスケア産業創出懇談会 <平成23年2月~9月>
 - 新ヘルスケア・サービス産業創出懇談会 <平成24年3月~6月>
- ウェルネスバレー(愛知県大府市、東浦町) <平成23年11月、推進協議会発足>
- とやま地域共生型福祉推進特区(富山県) <平成23年12月、地域活性化特区認定>
- 中部先端医療開発円環コンソーシアム(7大学病院・長寿研) <平成24年4月~>
- 中部経済連合会 産業委員会 長寿ヘルスケア部会 <平成24年4月~>
- 中部医療産業化ネットワーク(中部経済産業局) <平成24年5月~>
- 名古屋工業大学 コミュニティ創成教育研究センター <平成24年6月~>

2-(3). 組織体制(案)

(詳細は今後、理事会にて検討)

- フォーラムは、**民間主導により**、会員制の組織として運営。
 - 発起人会を受け、趣旨にご賛同いただける方の登録を開始。
- フォーラムに「理事会」を置く。
 - 「理事会」は、フォーラムの事業活動について検討。
 - 地域で先行する各取組み主体の代表者等で構成(予定)。
- 地域の事業主体、フォーラムの部会等のメンバーが集い、交流・連携できる場を設置。
- 事務局は、名古屋大学 岩尾研究室、中部経済産業局及び中部経済連合会で構成。
- 組織体制は下図のとおり。



3. 当面のスケジュール(案)

(詳細は今後、理事会にて検討)

平成24年度

- 7月6日 発起人会 …賛同者の登録開始
事業計画案の策定
事務局体制の整備
- 7月下～8月 理事会
…フォーラム運営に係る規約制定、事業計画の策定
…部会等の運営方法、テーマ
…会員募集
- 9月頃～ 部会等の活動開始
- 2月頃 理事会 …事業計画・収支予算
- 2～3月頃 交流会
(部会・研究会や地域の多様な活動主体が集う交流・連携の場)